

さいたま市総合振興計画審議会 総会(第1回) 会議録

日時	平成 31 年 1 月 31 日(木) 午後 2 時～
場所	市民会館うらわ 503・505 会議室
出席者 (敬称略)	<p>[委員] 計 38 名</p> <p>秋元智子／秋元秀夫／石川憲次／磯田俊輔／内田幸枝／小野安史／川鍋栄／河野公輝／桐淵博／合谷竜一／齋藤友之／齋藤英一／坂野豊樹／作山康／佐藤徹／島田正次／鈴木甫／鈴木真由美／高橋行憲／田中岑夫／塚崎裕子／鶴見清一／永沢映／中野勇／長野基／子吉亮／平林紀子／藤枝陽子／松本敏雄／松山麻衣／三次宣夫／宮本恭嗣／村山和弘／茂木武久／本澤繁／山崎秀雄／横道清孝／渡邊峻也</p> <p>[さいたま市長] 清水勇人</p> <p>[事務局] さいたま市</p> <p>都市戦略本部:真々田本部長／松本総合政策監／溝副理事／中村参事／田中副参事／篠葉参与／前主幹／新井主査／盛月主査／早川主任／松本主任／松尾主任</p>
欠席者	<p>[委員] 計 10 名</p> <p>内田奈芳美／大久保秀子／岡本祐輝／柏木恵／久保田尚／豊島登／島海修一／松本雅彦／矢部憲春／山田亜紀</p>
議題	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 定足数の報告</p> <p>5 委員紹介</p> <p>6 会長選出</p> <p>7 会長挨拶</p> <p>8 諮問</p> <p>9 職員紹介</p> <p>10 職務代理者の指名</p> <p>11 議題</p> <p>(1)次期総合振興計画策定に向けた検討経緯等について</p> <p>(2)次期総合振興計画の全体像について</p> <p>(3)審議会の進め方等について</p> <p>(4)その他</p> <p>12 閉会</p>
公開又は 非公開の別	公開

傍聴者の数	1人(報道)
審議した内容	議題に同じ
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・席次</li> <li>・資料1 諮問書(写)</li> <li>・資料2 本日の目的</li> <li>・資料3 次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等</li> <li>・資料4 次期総合振興計画の全体構成(目次)(案)について</li> <li>・資料5 次期総合振興計画 第1部 計画の全体像(案)について</li> <li>・資料6 総合振興計画審議会第1回総会参考資料</li> <li>・資料7 総合振興計画審議会の進め方等について</li> </ul> <p>(参考資料)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 さいたま市総合振興計画審議会条例</li> <li>2 さいたま市総合振興計画審議会運営要綱</li> <li>3 さいたま市総合振興計画審議会傍聴要領</li> <li>4 さいたま市次期総合振興計画策定基本方針(平成30年11月)</li> </ol> <p>(その他配付冊子)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 さいたま市総合振興計画在り方検討委員会報告書(平成30年3月)</li> <li>2 平成29年度次期総合振興計画の検討に向けた基礎調査報告書(平成30年3月)</li> <li>3 2020さいたま市希望(ゆめ)のまちプラン</li> <li>4 さいたま市総合振興計画後期基本計画後期実施計画 平成30(2018)年度改定版</li> <li>5 しあわせ倍増プラン2017 平成30(2018)年度改定版</li> <li>6 さいたま市成長加速化戦略 平成30(2018)年度改定版</li> <li>7 さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30(2018)年度改定版</li> </ol>
問い合わせ先	さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部 電話 048-829-1035

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

(別紙「委員名簿」順に、各出席委員に市長から委嘱状を交付)

## 3 市長挨拶

**○市長** さいたま市総合振興計画審議会委嘱状の交付にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、大変お忙しい中、さいたま市総合振興計画審議会の委員へご就任をいただきまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。さて、本市の

現在の総合振興計画は、平成13年5月のさいたま市誕生後、平成14年12月に策定しました基本構想に始まり、3つの将来都市像である環境共生都市、生活文化都市、交流拠点都市の実現を目指し、都市づくりを進めてまいりました。その総合振興計画も平成32年、2020年度末に計画期間が終了します。そのため戦略的な市政運営を推進するための長期ビジョンを市民と共有する指針、市民と市の協働による都市づくりを進めるための指針として、次期総合振興計画について検討頂くため本審議会を設置することとなりました。これまで本市は平成15年4月1日の政令指定都市への移行、17年4月の岩槻市との合併といった大きな節目を経ながら、本市誕生時には約103万人の人口が、今では130万人を超えるなど多くの方々の英知やご尽力を礎として持続的に成長・発展しつづける大都市となってきました。さいたま市民意識調査で本市を「住みやすい」と感じている方は、調査を開始した平成19年度の74.0%から上昇基調が続いており、平成30年度では84.2%に達しています。また、今住んでいる地域に「住み続けたい」という定住の意向については86.1%と調査開始から過去最高となっており、市民の満足度についても順調な伸びを示しているものと考えています。しかしながら、人口減少・少子高齢化の進行、経済のグローバル化、技術革新の進展、地球環境問題の深刻化、社会の多様化など、本市を取り巻く状況は大きく変化しています。本市においても高齢化率は毎年上昇しており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、本市の総人口は平成42年（2030年）をピークとする約131.8万人から、平成57年（2045年）には約128.5万人まで減少する見通しとなっています。特に団塊世代や高齢者の割合が少ない反面、団塊ジュニア世代の割合が多い本市では、今後他の自治体と比べて高齢化が急速に進み、公共施設の老朽化や社会保障関連経費等の増大により財政運営の厳しさが増すことも想定されています。本市では、人口のピークを迎えるまでのこの運命の10年こそ、将来も持続的に成長・発展を続けていくために、大変大切な期間と考えて取組を始めています。次期総合振興計画は、平成33年度（2021年度）から平成42年度（2030年度）までの10年間の計画です。折しもさいたま市誕生から20年が経過し、成年期を迎えるさいたま市として、平成33年、2021年の先の新たなさいたま市の創造、新たなステージに向けての計画づくりとなります。委員の皆様におかれましては、次期総合振興計画の策定の趣旨をご理解いただき、本市を取り巻く社会経済状況の様々な変化を視野に入れ、やがて迎える人口減少を見据え、長期的な展望に立った10年間の計画であることを踏まえて頂き、総合的かつ多様な視点から活発なご議論を頂きますよう、心からお願い申し上げます。私からのご挨拶といたします。皆様よろしくお願いたします。

#### 4 定足数の報告

○司会　さいたま市総合振興計画審議会条例第5条第2項により、本審議会の定足数は過半数と定められておりますが、本日の出席委員は、委員総数48名に対して現在37名となっております。定足数を満たしていることから、本日の審議会が成立していることをご報告いたします。

#### 5 委員紹介

○司会　委員の皆様をご紹介します。（委員名簿順に委員紹介）

**○司会** なお、内田奈芳美委員、大久保秀子委員、岡本祐輝委員、柏木恵委員、久保田尚委員、豊島登委員、鳥海修一委員、松本雅彦委員、矢部憲春委員、山田亜紀委員は、本日も欠席となっております。

## 6 会長選出

**○司会** さいたま市総合振興計画審議会条例第4条第1項により会長の互選をお願いします。会長の選出につきまして、ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**○三次宣夫委員** 事務局案はございませんか。

**○司会** ただいま、事務局からの案の提示について、ご意見がございましたが、事務局から会長の案をお示しするというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

**○司会** それでは事務局から会長案の提示をお願いします。

**○事務局** 事務局といたしましては、地方自治を専門とし、現行の総合振興計画の策定の際には審議会の委員であり、後期基本計画の策定の際の審議会では会長という要職を務めて頂き、また、平成29年度にこの次期総合振興計画に向けた「さいたま市総合振興計画在り方検討委員会」でも委員長を務めて頂いた政策研究大学院大学理事・副学長の横道清孝委員にお願いできればと考えております。

**○司会** それでは、事務局案について、ご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

## 7 会長挨拶

**○会長** 政策研究大学院大学の横道です。本審議会の会長という大役を仰せつかりました。大変光栄で一所懸命努めたいと思います。政策研究大学院大学の前身は埼玉大学の政策科学研究科であり、さいたま市に10年位通いました。専門が地方自治で市町村合併について研究しており、このさいたま市における3市合併、その後の岩槻市との合併、そして、政令指定都市への移行、さらに人口が100万人から130万を超えるという若い政令指定都市として成長していく姿を見てきて大変嬉しく思っています。総合振興計画について最初は審議会委員、その後、後期基本計画で会長として参加させて頂きました。今回は次期総合振興計画を策定するという事で一番大きな大役と考えています。市民と共有できる将来のまちのイメー

ジ、方向性を定義できればと思っています。皆様のご意見、お知恵を拝借しながら進めていきたいと思っています。どうかよろしくお願い致します。

## 8 諮問

○司会 当審議会への諮問について、清水市長より会長に諮問書をお渡しさせていただきます。

### ○市長

(諮問書読み上げ) どうぞよろしくお願いいたします。

(清水市長から横道会長へ諮問書を手交)

(清水市長退席)

## 9 職員紹介

○司会 当審議会を所管いたします職員の紹介をさせていただきます。  
(事務局職員紹介)

○司会 次に、資料の確認をさせていただきます。  
(配付資料確認)

○司会 本審議会の会議の公開についてでございますが、さいたま市情報公開条例第23条により原則公開とさせていただきますが、不開示情報に該当する事項について審議する場合等は、理由を明らかにした上で、会議の全部又は一部を非公開とすることができます。この公開、非公開については後ほどお諮りいただきます。なお、現在のところ、傍聴希望者は0名、また、報道関係者は1社です。また、本審議会につきましては、会議録を作成するための録音、記録のための写真撮影を行わせていただきます。会議録につきましては、各委員にご確認いただいたのち、会長の承認を以って確定いたします。公開となる会議の会議録は、各区情報公開コーナーと市のホームページで公表する予定となっておりますので、あらかじめご承知ください。それでは、以降、会長に議事進行をお願いいたします。

## 10 職務代理者の指名

○会長 はじめに、会議の公開と傍聴の許可について諮りたいと思います。本日は特に問題はないので、公開として傍聴者を許可したいがよろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長 ご異議がないようですので、本日の会議は公開としたいと思います。次に、職務代理の指名ですが、審議会条例第4条第3項の規定により「会長が指名する委員」となってい

ますので、私から指名をしたいと思います。職務代理者としては本日欠席されていますが、昨年「さいたま市外部評価委員会」の委員長、そして、次期総合振興計画のためのシンポジウムでコーディネーターを務め、また、さいたま市では「都市交通戦略推進委員会」委員長など、市の都市計画、交通政策に関する委員を多数歴任されている埼玉大学大学院教授の久保田尚委員を指名いたします。本日欠席されているので、事務局から伝えておいて下さい。

## 1 1 議題

### (1) 次期総合振興計画策定に向けた検討経緯等について

(資料2・3に基づき、次期総合振興計画の策定に向けた検討経緯等について事務局から説明)

(意見・質問なし)

### (2) 次期総合振興計画の全体像について

(資料4・5・6、参考資料4に基づき、さいたま市次期総合振興計画策定基本方針、次期総合振興計画の全体構成(目次)(案)、次期総合振興計画第1部計画の全体像(案)等について事務局より説明)

○**会長** ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問等はございますか。

○**秋元秀夫委員** テーマについては網羅性があるが、テクノロジーを計画策定にどのように盛り込んでいくかという点が薄いのではないかと。また、審議会のメンバーについてもテクノロジーの有識者が足りていないのではないかと。

○**事務局** テクノロジーについては策定基本方針の策定趣旨に情報化社会の高度化への対応として強調している。また、課題として技術革新の進展を記載しており、ICTやIoTを含めて今後取組の中で考えていきたい。行政としても市民協働等の領域で情報技術を活用したツールの重要は高まっていると考えている。

○**秋元秀夫委員** テクノロジーについては、福祉や教育を含めどの分野でも必要なことなので、メンバーの追加も検討してほしい。

○**秋元智子委員** 環境や社会を全体として見て持続可能な開発のためにSDGsという概念で国連が17の目標を設定している。さいたま市においてもSDGsの考え方を採り入れることで計画が先進的なものになるのではないかと。

○**事務局** 各施策分野についてはそれぞれの部会において施策の内容を示させて頂きご議論を頂く。

○秋元智子委員 SDGsについては、各施策分野というよりも全体に係ってくるものと捉えている。

○事務局 検討していきたい。

○会長 ITと似て、計画全体に関わってくるので位置づけについて検討したい。

○桐淵博委員 計画策定に当たっての基本的な考え方として4つの強みと2つの優位性があるが、表記の問題として、4つの強みの内容が分からない。また、さいたま市の評価は市民から高いが、今良い点を伸ばすばかりでなく、新しい課題に対して重点を置くという発想も必要ではないか。

○事務局 表記の方法については検討していく。社会変化に応じて、強みだけでなく、これからの課題の克服も含めて考えていきたい。

○作山康委員 SDGsについては2030年を目標にしており、基本構想、基本計画と同じ目標年次となっている。元々は環境の議論であったが、SDGsというのはグローバル化や人権等を含め地球レベルで目標を共通化するものである。国や経団連では去年くらいから常識となっている。個別の施策でなく、紐づけ、アイコン付けかもしれないが、全体に係る基本構想の中で掲げるべきだと思う。

○会長 ITもSDGsも位置づけについて検討していきたい。

○宮本恭嗣委員 基本的な枠組みはよいと思うが、「上質な生活」や「東日本の中枢」という言葉が具体的なイメージに繋がらない。教育水準が高いということのみならず、どのような生活を上質というかを議論していくべきではないか。具体化することで目標の議論ができると思う。大宮をイメージして東日本の中枢という点は分かるがどのような活動をすれば中枢といえるかという議論は必要となる。健康とスポーツをまとめているが、健康については概念が広いが、健康とスポーツを一体にすると、コミュニティやまちづくりといった他の要素が含まれなくなるか。

○事務局 内容については、整理していく。

○会長 上質や中枢をどのように理解するか。何を指標として捉えるかについて議論していきたい。健康とスポーツについても整理していきたい。生活と健康はどちらかというとソフト、中枢はハードという整理に見えるが、ハードとソフトを一体化して捉えながら整理していきたい。

○子吉亮委員 実施計画の見直しが毎年度となっているが、見直しに当たっての何かしら定量的な指標が必要と考える。指標や手法について明示すべきではないか。

**○事務局** 現行の総合振興計画においても総合指標と個別指標を設けている。総合指標は、住みやすい、住み続けたいとしており、個別指標は節レベルまで落とし込んで指標を設定している。次期総合振興計画については現時点では総合指標と個別指標を設定する方向であるが、11の分野について成果を達成するための指標を設定し、PDCAでしっかりマネジメントしていきながら、毎年度実施計画の見直しをさせて頂きたい。

**○会長** 頂いたご意見については事務局において整理してほしい。全体としてはこれでよろしいということによろしいか。

(異議なし)

**○桐淵博委員** 会議の進め方として、この会議には学識経験者や研究者以外に市民が多く参加しているので、専門用語については都度分かりやすい説明をお願いしたい。

**○会長** SDGsは、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継として2015年の国連総会で採択されたもので、持続可能な開発に関する目標の達成を目指すもので、環境のみならずほぼ全ての分野をカバーしている。日本にも導入され、自治体の中でも取り組みが始まっている。

**○秋元秀夫委員** 会議の進め方として時間の短縮のためにプロジェクターを用意してほしい。

**○事務局** 検討する。

### (3) 審議会の進め方等について

(資料に基づき、総合振興計画審議会の進め方等について事務局から説明)

**○会長** 今日は全体像の議論であるが、部会において具体的な施策について議論をして頂きたい。調整部会が全体調整を行い、総会に上げていく。

**○事務局** 各部会に所属して頂く委員については会長の指名に基づき第2回総会で示させて頂く。

### (4) その他

**○事務局** 今後については第2回総会を3月に予定している。次期総合振興計画の第2部から第4部について議論することを予定しており、その後平成31年度において各部会で具体的な施策のご議論を頂きたい。

**○会長** それでは、これもちまして、本日の議事は終了させていただきたいと思います。委員の皆様のご協力により、円滑な議事進行ができましたことにお礼申し上げます。

12 閉会